

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法Ⅱ Community development Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修 社会福祉士主任任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟2F	火・水・木9:00～16:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
前期履修科目「地域福祉の理論と方法Ⅰ」をベースに、地域福祉を具体的に推進する地域福祉計画の策定、コミュニティソーシャルワークの実践、社会資源の開発、ネットワーキング等具体的な実践課題について学習する。				
授業の目標				
①地域福祉計画の策定とそのプロセスを理解できるようにする。 ②社会調査及びコミュニティソーシャルワークの知識・技術について理解できるようにする。 ③関係組織のネットワーキングの重要性を理解できるようにする。 ④福祉の町づくり等の実践事例から、地域福祉の組織化を理解できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心として関連資料を基に進める。				
学習の成果（学習成果）				
①社会福祉の原点である地域福祉推進の重要性を認識でき、説明することができる。 ②関係機関との連携の重要性を理解し、説明することができる。 ③住民意識の変化と福祉教育・ボランティア活動の必要性が認識でき、説明することができる。 ④社会福祉協議会及び行政の協働活動の必要性を理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、留意事項、成績評価等） 地方自治体の地域福祉の取り組みについて			
第2回目	地域福祉計画の策定① 地域福祉計画の意義及び概要について			
第3回目	地域福祉計画の策定② 策定プロセス（調査・企画・策定委員会）について			
第4回目	地域福祉計画の策定③ 地域の特性・住民意識の調査・社会資源調査について			
第5回目	コミュニティソーシャルワークの実践① 関係機関・組織との協議と連携について			
第6回目	コミュニティソーシャルワークの実践② 計画策定委員会の運営・計画素案の作成について			

第7回目	地域自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク（高齢者・障害者・児童を中心として）について		
第8回目	社会資源の開発と創造① 住民参加の促進と協働について レポート作成「福祉コミュニティの形成とコミュニティソーシャルワークについて」※提出は第9回目の授業日		
第9回目	社会資源の開発と創造② 地域の社会資源の開発・創造について		
第10回目	ネットワーキングの組織化① 情報提供と収集のシステム化の検討について		
第11回目	ネットワーキングの組織化② 福祉の町づくり推進会議（仮称）の組織化と運営について		
第12回目	ネットワーキングの組織化③ 福祉の町づくりの実践事例について		
第13回目	地域福祉の展望と課題① 行政の対応と課題について		
第14回目	地域福祉の展望と課題② 社会福祉協議会・民間組織団体の対応と課題について		
第15回目	地域の福祉力を創造するために 授業のまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。
レポート		10%	第1回～第7回までの講義内容に関するレポートとする。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。
調査報告書			
小テスト			
試験		70%	論述、記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：「地域福祉の理論と方法」社会福祉士養成講座・中央法規 参考書・参考資料：授業の都度指示、資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
地域社会の生活福祉問題について新聞等で資料を収集しておくこと。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。			